

2 徳川家康略年表

年	事績および関連事項
天文二年（一五四二）	三河岡崎城に生まれる（幼名竹千代）。父は松平広忠、母は於大（水野氏）。
同一六年（一五四七）	人質として今川家に護送中、戸田康光に奪われ、尾張織田氏の人質となる。 ※近年の研究では、今川氏へ人質として送られたことに否定的な見解もある。
同一八年（一五四九）	織田、今川との人質交換で駿府に赴く。
弘治二年（一五五六）	元服。今川義元の一字を与えられ松平次郎三郎元信と称す。築山殿（関口氏）を娶る。
永祿元年（一五五八）	今川義元に命じられ岡崎に帰り、寺部城の鈴木重辰を攻める（初陣）。元康に改名。
同二年（一五五九）	嫡男信康が誕生。
同三年（一五六〇）	桶狭間の戦いで今川義元戦死。大高城を出て岡崎城に入城。
同六年（一五六三）	家臣団を二分する三河一向一揆が勃発（翌年鎮圧）。家康に改名。
同九年（一五六六）	従五位下三河守に叙任。姓を松平から徳川と替える。
同一一年（一五六八）	武田氏と同盟。遠江へ進出し今川氏真を攻める。
元龜元年（一五七〇）	織田信長に従い姉川の戦いに出陣。浜松城を築城し本城とする。
同三年（一五七二）	武田信玄が遠江・三河へ侵攻。三方ヶ原の戦いで武田信玄に大敗。
天正二年（一五七四）	二男秀康（結城秀康）が誕生。
同三年（一五七五）	織田信長と連合して長篠の戦いで武田勝頼を撃破。
同七年（一五七九）	三男秀忠が誕生。築山殿を殺害。長男信康が自刃。
同九年（一五八一）	高天神城を武田より奪還し遠江を平定。
同一〇年（一五八二）	武田勝頼自刃（武田氏滅亡）。本能寺の変で織田信長が死去。「伊賀越え」により岡崎に掃蕩。北条氏と同盟。三河・遠江・駿河に甲斐・信濃を加えた五か国の大名となる。
同一二年（一五八四）	織田信雄を助け小牧長久手の戦いで豊臣秀吉と戦う。
同三年（一五八五）	真田氏の本拠上田城を攻めるも撃退される。
同一四年（一五八六）	豊臣秀吉と和睦。秀吉の妹朝日を正室とする。大坂城で豊臣秀吉に拝謁。
同一八年（一五九〇）	小田原攻め（後北条氏滅亡）。秀吉から關東への移封を命じられる。江戸城入城。
慶長三年（一五九八）	豊臣秀吉死去。
同五年（一六〇〇）	上杉景勝征伐のため会津に出陣。関ヶ原の戦いで石田三成を破る。
同八年（一六〇三）	征夷大将軍に任官され江戸幕府を開く。
同一〇年（一六〇五）	將軍職を秀忠に譲り大御所となる。
同一二年（一六〇七）	駿府城焼失。
同一九年（一六一四）	大坂冬の陣。
元和元年（一六一五）	大坂夏の陣（豊臣氏滅亡）。
同二年（一六一六）	太政大臣に任官。四月十七日に駿府城にて死去（享年七五）。
同三年（一六一七）	朝廷より「東照大権現」の神号が宣下される。

【参考文献】

- ・藤井讓治『徳川家康』（吉川弘文館、二〇二〇年）
- ・黒田基樹『徳川家康の最新研究 伝説化された「天下人」の虚像をはぎ取る』（朝日新書、二〇二三年）